



梅の花は春の訪れを告げる



心身練磨し勝利へ

芝山町武道大会

1月24日、芝山町総合運動場において、「第36回武道大会」が行われました。日頃の練習の成果を発揮するだけでなく、種目を越えて親睦を深める選手たち。

閉会式で芝山町武道振興会の西海一男会長は、「どんなスポーツも『続けること』が大事」と選手たちに語りかけました。

- ①「旭市柔道協会」と交流試合
- ②町内小・中学生の剣士たちが躍動
- ③集中力を高めて
- ④「組手」と「型」の2部で勝負



災い払って福よ来い!

節分

観光親善大使の永尾まりやさんが2月3日の節分に来町し、町民との交流を深めました。

福祉センターではミニ・デイサービスを利用するおばあちゃんたちと一緒に、芝山仁王尊の節分会では年男年女の方々とともに豆をまき、災いを起こす鬼を町から払いました。

- ①第1保育所の子どもたちが扮するかわいい子鬼は元気いっぱい!
- ②福祉作業所では作業中の皆さんと記念撮影
- ③芝山仁王尊の節分会でも永尾さんは大活躍

1月12日 仁王様の子育て



子どもを仁王様に預けて健康に育つことを祈念する「取子大縁日」の法要が、芝山仁王尊で行われました。子どもを連れた大勢の家族が法要に参加し、子どもの健やかな成長を祈りました。

1月13日 災害に強い地域へ

山武郡市の6市町とJA山武郡市が、「災害時における支援協力に関する協定」を締結。協定には、災害が発生した時、JAが農産物資や施設を提供することなどが盛り込まれました。



1月14日 よく分かる税



町の税務担当職員が芝山小学校の6年生を対象に行った「租税教室」。税の種類や町の税収について勉強した後は、税のない社会の様子を描いたアニメを鑑賞。楽しく学ぶことができました。

1月25日 チームワークで勝利

農業者トレーニングセンターでスポーツ大会が開催され、29組のペアがバドミントンで優勝を競いました。
◎一般の部 優勝 三浦・小河原ペア
◎中学生の部 優勝 江原・小川ペア



2月1日 芝山の初笑い



毎年恒例の新春寄席が文化センターで開催されました。今年のトリを務めたのはテレビでもおなじみの三遊亭好楽さん。酒好きの親子が禁酒に失敗する「親子酒」を演じ、ホールは笑い声に包まれました。

1年の幸せを祈って

オビシヤ



オビシヤとは1月から2月上旬にかけて、その年の五穀豊穡や悪疫退散などを祈念して行われる行事です。千葉県では盛んに行われており、芝山町内でも各地区で男オビシヤ・女オビシヤが続けられています。

白樹地区の男オビシヤは1月18日に行われました。神前での神事が終わった後直会となり、盛り上がってきたところで「酒相撲」が行われます。両親が健な人が行事となり、行事が東西より酒相撲を取る人を指名します。指名された2人は行事の前に座り、酒が注がれた椀を3度飲み干します（写真①）。酒を飲む際は一切しゃべってはいけなとされているため、無言で並々と注がれた酒を飲み、周りの人はその様子を見て楽しそうにはやし立てていました。



新井田地区の女オビシヤは1月25日に行われました。新井田公民館に集まった女性は僧侶とともに子安観音様を拝み、それが終わると、下座から杯が入った盆を持った人が上座へ移動し、その後を「豊年だー、万作だー」と掛け声を掛けながらハネコ（トウモロコシを加工したもの。現在はポップコーンで代用）をまいていきます（写真②）。

楽しく盛り上がった2つのオビシヤですが、どちらからも聞かれた声が、参加者の減少と高齢化。新井田地区の方は、「古くから伝わる伝統を大切にしていきたいが、いつまで続けていけるか心配。若い人にも参加してもらい、これからも続けていってほしい」と語ってくれました。